

製品名: OPA1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86943**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:112 kDa; Observed MW:80 kDa

抗原情報

遺伝子名	OPA1
別名	NPG; NTG; MGM1; BERHS; largeG; MTDPS14
遺伝子ID	4976
SwissProt ID	O60313
免疫原	ヒトOPA1の合成ペプチド

背景

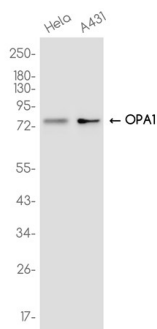
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、核にコードされるミトコンドリアタンパク質であり、ダイナミン関連 GTPase と類

似しています。このタンパク質はミトコンドリア内膜に局在し、ミトコンドリアの安定性とエネルギー出力の調節に関与しています。また、このタンパク質はシトクロムcを隔離します。この遺伝子の変異は、優性遺伝性の視神経症である視神経萎縮症1型と関連しており、視力の進行性低下を引き起こし、多くの場合、法的失明につながります。[RefSeq 提供、2017年8月]

研究分野

-

画像データ



OPA1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、A431 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。